

## 2012.06.23 『原発』 Yes or No 公開討論会 アンケート結果

Q2: 公開討論会終了後、原発稼働の是非(国民投票の選択肢)について、ご自身の意見に変化がありましたか？また、変化した理由、変化しなかった理由をお教えてください。

### 【 変化があった 】

- ・ 今日、討論会に参加するまでは気持ちの上では即刻停止！であったが、もっと議論を深める必要がある、時間も必要である、と以前よりも冷静に、客観的に問題を考えることができるようになったと思う。
- ・ 変化があった。原発Yes派の意見に懸念が深まったから。
- ・ なんとなく認めない派でしたが、やはり原発はなくした方が良いという意見になった。今後どうしたら一番良いか皆で考えなければ。
- ・ 少し変わった。代替エネルギーについて、宮台氏をはじめ、逃げ続けていたので残念。
- ・ 変化があった。情緒だけでなく、透明性ある情報に基づいて判断したい。□技術的なリスクー判断して、脱 or Yes になるが、□ガバナンスのリスクーは脱原発にも続く。日本のガバナンスを改善しなければ、自然社会になっても危ない。(宮台氏から菅氏へただしてほしかった。)
- ・ 変化はありました。原発稼働容認というより賛成派だったのですが、菅さんのお話を聞いて、高木さんのおっしゃる技術の革新や代替案があるという事を確信(という言い過ぎか)したので、原発はなるべく早くやめて良いと思いました。未規定のリスクを容認するとはできないという論理は100%正しいと思いますが、高木さんがおっしゃっていた『代わりがあるのか？』がとても気になっていたのです。
- ・ 何となく反対、と思っていたが容認派の先生方の話を聞いて認識が深まった。原発だけではなく、これからのエネルギー含めて、総合的に考えなければならぬと思う。

### 【 変化しなかった 】

- ・ 変化しませんでした。なぜなら、賛成派の人達から『責任』という事が話されなかったからです。今、高校生ですが、世間では社会人としての自覚、責任をもとよく言われます。なのに、リスクの話しかせず、生命倫理に対する誠意ある責任について感じられなかったからです。
- ・ 変化はありません。議論をかさね、勉強すれば市民でももっと日本や世界のためにとってよい選択ができると思う。議論をして、容認派の考えがわかれば尚更しっかりした考えや知識が身につきます。
- ・ 変化はありません。原発がどうしても必要という意見や話がなかった。
- ・ 原発反対という考えは変わらないが、容認派の人たちの話をもっと聞いてみたいと思いました。何をもって原発を容認していくのか、その正論をきいてみたい。
- ・ 変化なし。推進派の方々は最終処分場、地震国におけるリスクについて言及されず、消化不良であった。
- ・ 自分は原発の廃絶を望みますが、推進派の方々の意見も傾聴に値するものがありました。

- ・ 変わりませんでした。原子力政策について言われる『国策』という言葉も、情報公開と自由な議論のもとに国民全体で決定され、承認されたという意味の『国策』であってほしい。
- ・ 変化しませんでした。いろいろ知って、余計に意思がしっかり固まり、未来に希望が持てました。そして、反対の意見の人の言い分もわかり、一緒の結論に辿り着く難しさが分かりました。
- ・ 自分は脱原発派だが、容認派にも彼らなりの素朴な『理』があると感じた。自らの意見には変化はなかったが、脱原発派の論理のみによる脱原発には、我々も余程慎重になるべきだろう。
- ・ 変化なし。再生可能エネルギーでやっていける。永久右肩上がり信者から抜け出すことで、経済が縮小しても、継続可能な暮らし方を選べばよいと思う。
- ・ 変化はありません。何万年後の世界に責任を持つことはできないので、やはり反対です。経済も大切ですが、将来永遠に成長し続けることはないと思うので。原発事故をきっかけに、国民一人ひとりがエネルギー使い放題の社会を見直し、小さくても豊かな経済社会を作っていくことを考えることが必要だと思います。
- ・ まずは脱原発を早めるべきだと確信した。それは科学者や技術者が長期の時間軸でものを考えていないということがわかった。哲学・倫理学との共存が必要。
- ・ 反原発の立場だが、推進派の先生の話聞いて、思った以上に複雑な問題なのだとわかった。反対の立場に変わりはないものの、本当に原発なしでよいのか改めて自分の考えを吟味してみようと思った。
- ・ 変化しません。即廃炉が望ましい。働く人たちにひどい扱い。健康への影響。自らを省みていないのが明らかな弁論展開。(研究者が)信用を取り戻す努力をしっかりとやりきってから、稼働するかどうか初めて考えられるのでは？
- ・ 即ストップという考えに変わりはありません。ただ、更に心開いた議論、国民皆で考えるという思いは強くなりました。宮台さんのおっしゃる『今までの日本人は自分で考えず、お上にお任せ』はよくわかりません。でも、これからはそうしてはいられない。民衆も少しずつですが、賢くなっています。
- ・ 変化無し。そもそも、原発問題はロジックではなく理念の問題だと思っています。
- ・ 変わらず、脱原発社会を目指したい。民主主義の健全化のバロメーターとして、是非、国民投票を実現すべきだと思った。
- ・ 変わらない。原発再稼働のメリット・デメリットがわかり、大変勉強になりました。討論前から大飯の再稼働は『あり』で、10年以内にシフトしていくのが良いと考えています。

